

創立30周年記念行事



公益社団法人
日本年金数理人会

The Japanese Society of Certified Pension Actuaries



www.jscpa.or.jp

ごあいさつ

理事長

小川 伊知郎



日本年金数理人会は1989年4月に創立され、2019年4月に30周年を迎え、このたび記念行事を開催することとなりました。

この30年の歴史を簡単に振り返りますと、1986年の年金法改正によって、老後生活の基礎的部分を保障する基礎年金制度の導入等の改正がなされ、老後の所得保障における公的年金と私的年金の果たすべき役割の理解が進み、ゆとりある老後生活のニーズに応えるのは企業年金制度の役割であるとの認識が広がりました。その後、1988年の厚生年金保険法の改正により、企業年金制度の更なる普及、発展のために、その運営の基本となる年金数理の専門家として年金数理人制度が法制化され、同年9月に初の年金数理人が認定されました。

1997年4月には、厚生年金基金の財政を継続的に診断し、必要に応じた助言、監督官庁への報告等を役割とする指定年金数理人制度が施行され、年金数理人の役割は飛躍的に高まりました。当会としても年金数理人の専門性を強化し体制を整備する観点から、1998年5月に社団法人化し、その後2013年4月に公益社団法人化しています。

2000年4月から適用された退職給付会計により、年金数理人は企業のディスクロージャー制度においても大きな役割を担うことになったため、当会は退職給付会計に対応する実務基準を制定しました。また、2001年10月に確定拠出年金法、2002年4月に確定給付企業年金法が施行され、2002年8月には確定給付企業年金実務基準を制定し、新たに拡大した企業年金制度の枠組みの中で、当会は年金財政の健全性の確保に向けた活動を行ってきました。最近では、確定給付企業年金におけるリスク対応掛金やリスク分担型企業年金制度の創設、確定拠出年金制度における適用対象範囲の拡大等、制度の仕組みの見直しが実施されたところであり、制度設計や財政運営において年金数理人の関与の重要性が増しています。

当初100人余りで始まった当会は、この30年間で6倍を超えるまでになりました。この間、年金数理人の活動領域は大きく拡大してきましたが、その活動の大きさ、重要さに比して、多くの方にはまだよく知られていないと感じています。年金数理人は年金数理のみならず法令等の制度運営実務にも精通しており、関係各所と協力して企業年金制度の改善に携わる一方、各年金数理人は母体企業や企業年金に出向いて企業年金の財政運営にさまざまなアドバイスやサポートをしてきており、現場の状況をよく理解しています。当会は人生100年時代と言われる今日において、年金数理人の社会的使命を改めて認識し、高齢期の所得確保に向けた提言や啓発活動など、公益に資する活動に継続して取り組んでいきたいと考えています。また、そのような活動を通して年金数理人の活躍、貢献について社会からの理解が深まるよう、広報活動などの情報発信にも力を入れていきたいと思っております。

今回の創立30周年記念行事が、企業年金制度に携わる全ての方々にとって、年金数理人の社会に対する貢献を改めて認識いただく機会となりますことを希望いたします。

記念講演・記念式典

日 時 : 2019年5月27日(月) 13:25~16:30 (開場13:00)

会 場 : 東京商工会議所 グランドホール(5階)
東京都千代田区丸の内3-2-2 (地図は裏表紙)

◆◇ 開会挨拶 13:25~13:30

◆◇ 来賓祝辞 13:30~13:35

根 本 匠 氏 (厚生労働大臣)

◆◇ 記念講演 13:35~15:00

「生涯現役社会のための働き方改革と社会保障制度改革」

講演者: 清 家 篤 氏 (日本私立学校振興・共済事業団理事長/慶應義塾学事顧問)

◆◇ 記念式典 15:30~16:30

- ・理事長挨拶
- ・来賓祝辞
- ・功労者感謝状贈呈
- ・功労者代表挨拶

晩 餐 会

日 時 : 2019年5月27日(月) 17:00~19:00 (開場16:30)

会 場 : 東京會館 Sakura(7階)
東京都千代田区丸の内3-2-1 (地図は裏表紙)

記念シンポジウム

日時：2019年5月28日(火) 9:55～16:30(開場9:30)

会場：東京商工会議所 グランドホール(5階)

東京都千代田区丸の内3-2-2(地図は裏表紙)

◆◇ 開会挨拶 9:55～10:00

◆◇ 基調講演 10:00～14:15

※11:40～13:00は休憩時間となります。

「人生100年時代における年金制度の課題」 10:00～11:00

講演者：度山 徹氏(厚生労働省大臣官房審議官)

「人生100年時代に向けて企業年金のこれまでを振り返る」 11:00～11:40

講演者：山内 孝一郎氏(厚生労働省保険局調査課長
〈元厚生労働省年金局企業年金国民年金基金課基金数理室長〉)

「人生100年時代における私的年金の役割 ～企業年金の50年にわたる歴史を踏まえて～」
13:00～14:15

講演者：小野 正昭氏(みずほ信託銀行フィデューシャリーマネジメント部主席年金研究員)

◆◇ パネルディスカッション 14:30～16:30

「人生100年時代の年金を考える ～年金数理人に期待される役割～」

コーディネーター：森戸 英幸氏(慶應義塾大学法科大学院教授)

パネリスト：足利 聖治氏(企業年金連合会常務理事)

小野 正昭氏(みずほ信託銀行フィデューシャリーマネジメント部主席年金研究員)

北野 信太郎氏(マーサージャパングローバルクライアントマネージャープリンシパル)

田川 勝久氏(企業年金連絡協議会前会長)

吉田 一生氏(厚生労働省年金局企業年金・個人年金課長)

<50音順>

小川 伊知郎(日本年金数理人会理事長)

創立30周年記念誌の刊行

2020年2月刊行予定





公益社団法人 日本年金数理人会30年の歩み

1980's

- 1986年 4月 厚生年金基金連合会の「企業年金における年金数理のあり方についての研究会」において、資格制度の創設を提言
- 1988年 5月 年金数理人制度法制化
- 1988年 9月 年金数理人制度施行
- 1989年 4月 日本年金数理人会創立

1990's


- 1995年 8月 実務基準第1号を制定
- 1997年 4月 指定年金数理人制度施行
- 1998年 5月 日本年金数理人会の社団法人化
- 1998年 7月 会報「年金数理人」を創刊
- 1999年 9月 IAA(国際アクチュアリー会)に正会員として加盟
- 1999年 9月 「退職給付会計に係る実務基準」を制定


2000's

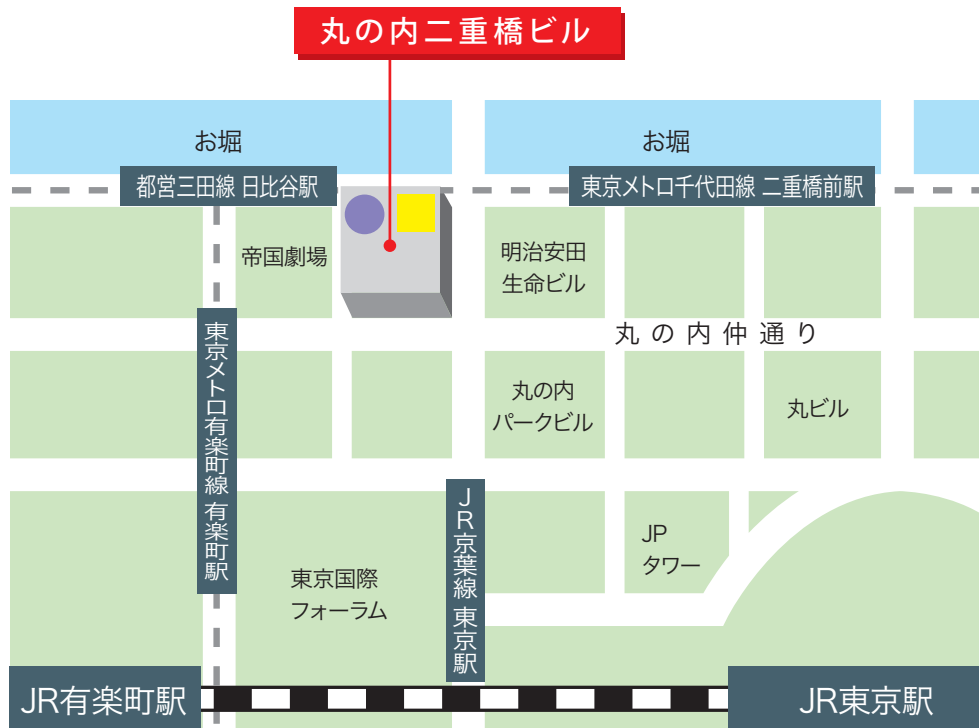
- 2002年 4月 大学での年金数理講座の開設の支援を開始
- 2002年 8月 「確定給付企業年金実務基準」を制定
- 2003年 3月 能力判定試験を開始
- 2005年 8月 企業年金研究賞を開始(~2007年)
- 2009年10月 20周年事業として「PBSS東京会議」、「20周年記念式典」、「年金大会」を開催

2010's

- 2011年 5月 JSCPA調査報を発刊(~2018年2月)
- 2012年 4月 会員向けeラーニングシステムを稼働
- 2012年12月 「退職給付会計に関する数理実務基準」及び「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」を公表(全文改定)
- 2013年 4月 日本年金数理人会の公益社団法人化
- 2014年 4月 継続的能力開発(CPD)制度創設に向けた実地テストを開始
- 2016年 3月 「IAS19に関する数理実務基準」を制定
- 2016年 4月 継続的能力開発(CPD)制度を創設
- 2017年12月 「確定給付企業年金に関する数理実務基準」及び「確定給付企業年金に関する数理実務ガイダンス」を公表(全文改定)
- 2019年 4月 創立30周年

 東京商工会議所 グランドホール(5階)
東京都千代田区丸の内3-2-2

 東京會館 Sakura(7階)
東京都千代田区丸の内3-2-1



公益社団法人 日本年金数理人会

The Japanese Society of Certified Pension Actuaries

〒108-0014 東京都港区芝 4-1-23 三田NNビルB1F

TEL: 03-5442-0208 FAX: 03-5442-0700